

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	庶務課
職	課長
氏名	岡崎 裕介

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か
-----------------	--

教育委員会が所管する業務の円滑かつ効率的・効果的な執行を推進するため、組織、人事、予算などの内部管理事務を総括するとともに、教育行政の総合的な企画や調整、広報活動などを行う。
 また、少子化、国際化などの社会の変化や情報化などの科学技術の進展等により、学校における学習内容や学習形態が多様化しており、こうした状況に対応できるよう高機能かつ多機能で弾力的な運用が図れる学校施設の整備をはじめ、子どもたちが安全で快適に学び、安心して過ごすことができる魅力ある学校づくりを進める。



組織の目標	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か
(定性的目標)	何をどのような状態にしたいか

1 教育行政の効率的・効果的な執行体制の確立

- ・限られた資源を最大限活用し、創意工夫をこらして、教育行政の総合的な企画・調整を行うとともに、県立学校管理費の適正な執行管理を行う。
- ・有為の人材を養成するため、経済的理由により高等学校、大学等への進学が困難な者に対する育英資金の貸与を行う。
- ・行政経営プログラムに基づき、柔軟かつ機動的な組織づくりと人材の育成・確保を図る。
- ・県民の教育に対する関心と理解を深めるため、学校・家庭・地域の連携を推進する。
- ・職員が健康で安心して職務に専念することができるよう、健康の保持・増進を図る。

2 教育環境の整備充実

ア 老朽化した校舎等の改修等の整備を計画的に実施することにより、安全で快適に学べる教育環境を整備する。

イ 障害のある児童・生徒に対して充実した教育環境を提供するため必要な施設整備を図る。

ウ 確かな学力をより効果的に育成することを目指し、言語活動の充実や、協働型・双方向型授業を推進するため、ICT環境の整備に努める。

(定量的目標)	具体的な指標、目標値を設定する				
----------------	------------------------	--	--	--	--

目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
1 高校等への進学率全国順位	2位 (99.5%)	H29 年度	全国上位堅持	H30 年度	富山5位 (99.3%)、福井6位(99.2%)



30年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する
--------------------------	-----------------------

1 就学援助の充実	本県における有為な人材の育成を図るため、経済的理由により高等学校、大学等へ進学が困難な者に対し貸与する育英資金の充実等に取り組む
2 ア 老朽校舎の改修等整備	野々市明倫高等学校等の大規模改修 等
イ 障害のある児童・生徒のための学校施設の整備	小松特別支援学校の増築・大規模改修 等
ウ ICT環境の整備	タブレット端末の整備